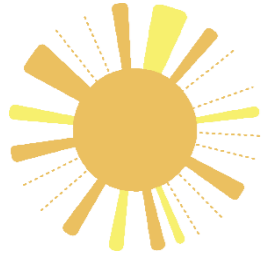


わたしのまちの福祉プラン



稲生地区社会福祉協議会





🌟 私たち稲生地区が目指す地域 🌟

～大人も子どもも手を取り合って～

# ずっと住みたい 稲生の郷に！



稲生地区「わたしのまちのふくし計画」は、地域に住む皆さんが地域で安心して暮らし続けられるために、「～大人も子どもも手を取り合って～ずっと住みたい稲生の里に！」という基本目標を立て、地域全体として取り組むこと、住民のひとり一人取り組めることを計画的に推進するために策定をしました。地域の福祉活動は南国市内で統一してできるものではありません。地域の実情によって、取り組みは変わってきます。稲生地区に合わせた継続性のある福祉活動の展開を図るためにも、ぜひ地域みんなで取り組んでいきましょう。

## 住民の皆さんが思う 地域の良いところ・誇れるところ

「小学校は生徒数が少ないが挨拶が良く出来る子が多い」  
「会議やサロンに出席する高齢者が多く、元気がある」

「地域活動に参加する人が多い」 「地域の人たちとのつながりが強く協調性が良い」  
「緑が多く、自然豊か」 「学校、地域の協力体制ができてきている(PTCA)」  
「良いおせっかいの方が多い」 「住民同士が気さく」  
「話しやすく、活発に意見が出る」 「子どもの見守りが充実している」 など

## 住民の皆さんが思う地域のふくし課題

### 【住民同士のつながり合い】

- 「昔より関係性が希薄になっている」
- 「そもそも地域に関心がない人がいる」
- 「ひきこもっている高齢者の見守りや声かけが難しい」
- 「避難訓練の参加者が段々と少なくなってきた」
- 「スマホ、ネットに頼りすぎ、使えない人に情報が届きにくい」 など



### 【多世代の交流】

- 「子どもと触れ合う機会が減って来た」
- 「若い人とのつながりがうすい」
- 「小さなころから地域とのふれあいの場が必要」
- 「日中、若い人は仕事をしているため地域の役など頼ることができない」
- 「若者に魅力のある地域産業などを考える必要性を感じる」
- 「防災訓練に若い人の参加が少ない」 など



### 【日常生活のちょっとした困りごと】

- 「近くに店がないため高齢者が買い物するときに困る」
- 「自家用車の運転を何歳までできるか不安だが、運転をやめると交通の便に困る」
- 「道が細いため、歩行時や運転時に危険が多い」
- 「ちょっとした困りごと(電球の交換等)を頼める人がいない」
- 「サロン等に一人で参加できない高齢者がいる」 など



# 5年後に向けてみんなではじめよう！

「～大人も子どもも手を取り合って～ずっと住みたい稲生の郷に！」を実現するための3つの目標！

1

子どもも若い世代も高齢者も  
住民みんながつながり  
合えるまち！

2

新しいことにもチャレンジして  
多くの住民が参加交流  
できるまち！

3

ちょっとしたことでも  
「頼り頼られる」関係づくり  
ができるまち！

??? そのために、稲生地区住民でできることってなんだろう ???

## 一人ひとりができること！

声を掛け合って積極的に  
行事に参加をする

普段からの関係づくりを  
一人ひとりが意識する

### 身の回りの出来ることから始める

- たとえば・・・こんなこと💡
- ★高齢になっても役に立てることに立候補する
  - ★飲み会を開催
  - ★野菜を加工しておすそ分けをする



笑顔であいさつ！

「いなぶつく」を見て  
地域の情報を得る



## 地域でできること！

### イベントの復活・継続

- ★びわもも祭り
- ★運動会
- ★夏祭り・氏神様のお祭り
- ★地域×稲生小学校の交流継続

### サロン・集いの場の 継続・立ち上げ

### 困りごとが頼める仕組みづくり

- たとえば・・・こんなことが出来たらいいな💡
- ★一人暮らし高齢者が頼みやすいように連絡網を作成
  - ★地区に困りごとコーディネーターを設置し困っている人と頼れる人をつないでもらう
  - ★有償ボランティア団体を作る

### 住民が参加したいと思える イベントを開催する

- たとえば・・・こんなことが出来たらいいな💡
- ★ミステリーツアー
  - ★運動会で仮装
  - ★スマホ・ipad・パソコン教室
  - ★防災訓練の内容を充実させる(炊き出しなど)



### 若い世代との新たな交流の場をつくる

- たとえば・・・こんなことが出来たらいいな💡
- ★防災×運動会
  - ★稲生オセロ大会&稲生将棋大会
  - ★ゆるスポーツ大会
  - ★スポーツイベント(バレー・スカッシュ・ソフトボールなど)
  - ★地区(自治会)を超えて飲み会
  - ★ラジオ体操を地域全体に定時放送

【令和4年10月26日（水）1回目住民座談会 開催】



『稲生地区のよいところや地域の福祉課題について』策定メンバーで話し合いを行いました。



【令和4年11月11日（金）2回目住民座談会 開催】



前回話し合った、稲生地区の『よいところや地域の福祉課題に対して何ができるか』を話し合いました。



完成！



南国市社会福祉協議会の取り組み

- 稲生地区の多くの住民が参画できるような地域活動をサポートします。
- 稲生地区の住民同士がつながり合えるような取り組みを一緒に考えサポートします。
- 稲生地区社会福祉協議会と連携して年に1回座談会を行い、稲生地区の地域福祉の推進に努めます。

稲生地区ってこんな町

稲生地区は南国市の南東部、下田川の流域に位置しています。

明治9年、下田村・衣笠村が合併して稲生村となりました。

「稲生」という名は「稲がよく生える」という

意味から来ているといわれています。

江戸時代から続く県内有数の石灰石の産地であったため、

現在も高知県有数の石灰メーカーの工場が集まっています。

この石灰質を好むビワが多くとれる地区でもあり、ビワ葉茶は稲生の特産品にな

っています。また、知る人ぞ知る桃の産地であり、

極早生（わせ）種の桃「ちよひめ」も特産品です。

稲生地区





※この計画は、稲生地区社会福祉協議会が中心となり、稲生地区各団体代表者が集り、話し合い(座談会)のもと作成しました。

【第1回座談会】 令和4年10月26日(水) 【第2回座談会】 令和4年11月11日(金)

【計画策定日】 令和4年11月30日

【策定メンバー】稲生地区社会福祉協議会、稲生地区民生児童委員協議会、稲生公民館、稲生小学校、健康文化都市、更生保護女性会、自主防災会、体育会、チーム稲生、長生会、ひまわり会、高知大学地域協働学部(順位不同)

